



重層的支援体制の整備(三重県志摩市)

誰もがつながりあい自分らしく暮らす志摩市

～すべての市民に“居場所”のある地域社会をめざして～

地域社会は、長年にわたって培われてきた地域住民のつながりやきずなによって支えられてきました。しかし、近年の人口および世帯構造の変化によって、さまざまな“生きづらさ”を抱えている人びとが、地域で孤立しやすくなっていると懸念されます。人びとが地域や社会で孤立することを防ぎ、必要があれば誰もが適切な支援につながることで、必要な支援を適切に受け、尊厳を持って周囲から尊重される生活がおくれる地域社会をつつていく必要があります。

※健康福祉部6課の全窓口
ふくし総合相談窓口

聞き取り

・複雑・分野横断的な課題がある相談
・現行制度では対応できない相談

報告

多機関協働事業

相談支援調整会議(週1回開催)

支援会議

重層的支援会議

情報収集・アセスメント・支援プランの作成

再アセスメント・プラン見直し・終結判断

参加

地域福祉課
介護・総合相談支援課
こども家庭課
健康推進課
生活支援課
保険年金課

相談支援アドバイザー
基幹相談支援センター
地域包括支援センター
生活困窮者自立支援

地域福祉推進アドバイザー

地域福祉推進会議(月1回開催)

参加

- ・関係部署・関係機関との調整と情報の共有化
- ・各課・社協が抱える支援課題解決のための取組み
- ・各事業の進捗状況の確認とPCDA



参加支援事業

【委託 志摩市社会福祉協議会】

既存の社会参加に向けた支援では対応できないニーズに対応するため、地域の社会資源を活用して社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。

- ・対象者のニーズを踏まえた丁寧なマッチング
- ・対象者のニーズを踏まえたメニューづくり(資源開拓)
- ・本人への定着支援と受入れ先への支援(フォローアップ)

地域力活性化支援事業

【委託 志摩市社会福祉協議会】

地域へのアウトリーチを通じて、地域住民等が地域生活課題の解決ができ、かつ、地域生活課題に関する相談を受け止める体制を整備する。

- ・地域の集いの場の整備、相談窓口機能、ボランティアセンター機能の強化
- ・地域住民の相談を包括的に受け止める人や場の整備・周知
- ・地域の関係者等との連携による地域生活課題の早期把握
- ・ひきこもり講演会、家族教室の開催

ひきこもり講演会の様子



地域支援コーディネーター

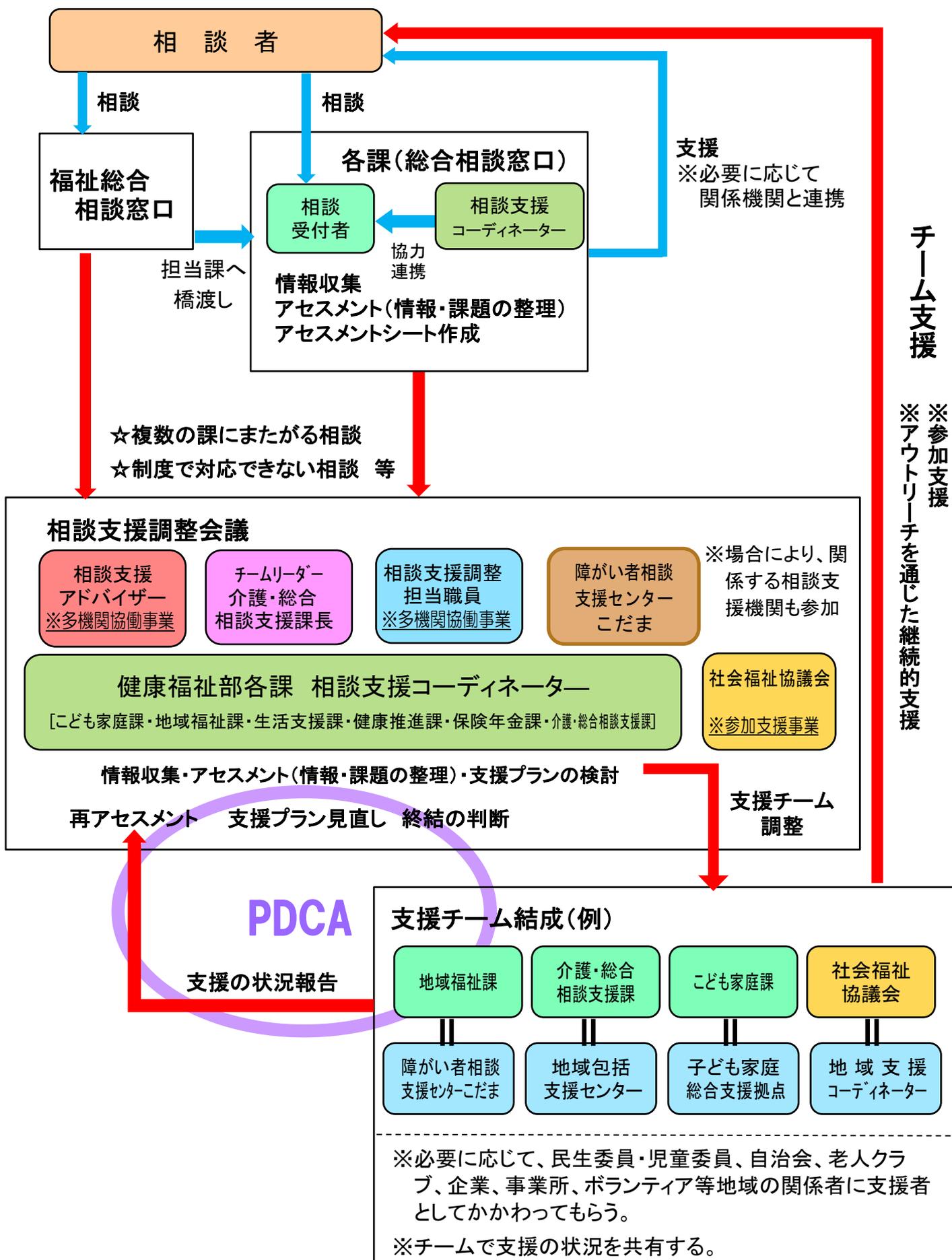
【委託 志摩市社会福祉協議会】

- ・住民組織間のネットワークの構築
- ・地域アセスメントの実施
- ・各地区でのふくし座談会の開催

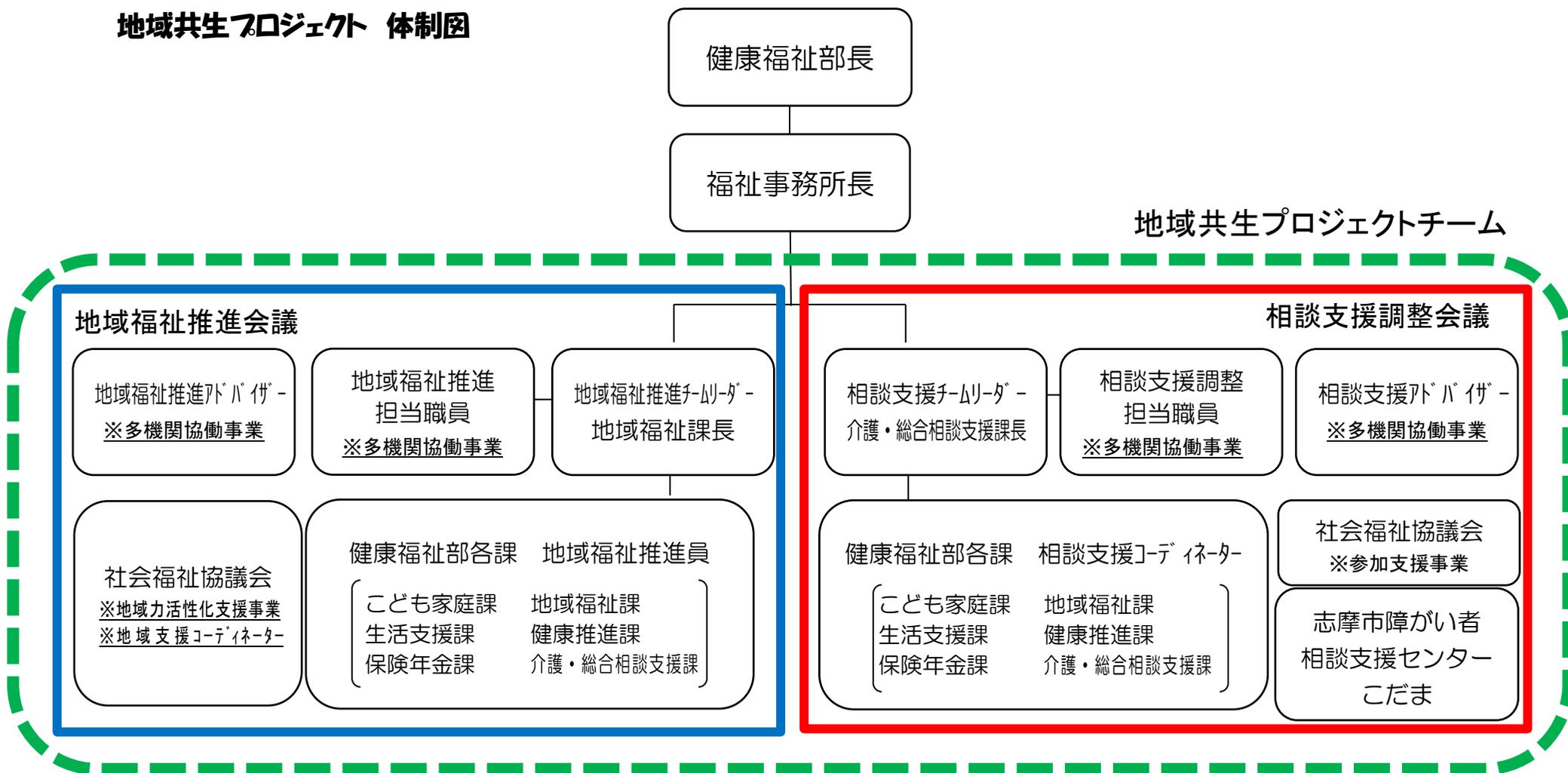
自治体概要

人口: 45,552人
世帯数: 22,583世帯
面積: 178.95km²
高齢化率: 41.40%
※令和5年6月30日現在

相談支援の流れ



地域共生プロジェクト 体制図



※健康福祉部長がチームの構成員を指名し、チームにリーダーをおく。

※チームリーダーは、チームの取り組み状況等を健康福祉部長に報告する。

地域福祉推進の流れ

